

拝啓

爽やかな季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、新聞計報記事でご案内のように、敬愛する小島慶三先生が秋風の吹く少し前の八月三十日、風のように去りました。

小島先生は皆様よくご存知のように、実に多才、多芸な方で、その九十一年間の人生もまた多彩なものでした。

戦時中の一九四〇年(昭和十五年)、東京商科大学(一橋大学)を卒業されて、商工省(経済産業省)に入省された先生は、戦後の混乱期に石炭政策課長、鉄鋼課長などを勤めて日本経済の復興を行政面から推進されました。

日銀政策委員のあと、日本精工(株)専務、芙蓉石油開発(株)社長、(財)日本立地センター、日本テクノマートの各理事長を歴任され、さらに日本新党から推されて参議院議員を務められました。

この間、先生は上智大学、成蹊大学、名古屋大学、一橋大学で講師として経済政策を講義され、実に官、財、政、学の四つの世界で第一級の活躍をされました。

後年、先生がとくに力を入られたのは、成長本位の経済政策に対する警告でもある「ヒューマンミックス」(人間復興の経済学)の確立でした。

六十年代に教え子らによって組織された「小島塾」(のちに「小島志塾」に改称)や「ヒューマンミックス研究会」で、経済における「倫理」の大切さを、そして昨今の環境論議に先駆けて、「農業の重要性」「水田の環境価値」などについて指摘されたのはご承知の通りです。

先生とともに働いた方々、先生とともに「ヒューマンミックス」を学んだ皆様、そして四十年にわたって先生の教えを受け、その遺志を継ごうという小島志塾の仲間たち…先生とご縁のあった人々が一堂に相集い「小島先生をしのぶ会」を実現しようと企画しました。

左記のように、時は先生の七七忌の直後の十月十九日、会場は先生が役員をされ「ヒューマンミックス研究会」の会場でもあった如水会館です。

ご多忙とは存じますが、貴方様のご出席を心からお待ちしております。

敬具

二〇〇八年九月二十三日

呼びかけ人 代表

山本克郎

由井克巳

酒井邦恭

井尻千男

峯浦耘蔵

北浦 勉

篠原 孝

最首公司

柳平 彬

秋元征紘

加藤春一

坂井義昌

磯浦康二

各位

記

「小島慶三先生をしのぶ会」

日時 二〇〇八年十月十九日(日)受付午前十一時半、開宴正午〜午後二時

場所 東京 神田一ツ橋 如水会館 2F オリオン

東京都千代田区一ツ橋二一〇三―三二六一―一〇一(代)

地下鉄竹橋駅(東西線)下車1b出口 徒歩4分

地下鉄神保町駅(半蔵門線・三田線・新宿線)下車

A8・A9出口 徒歩3分

会費 一万円

(同封返信はがきを十月十日までにご投函ください)

(当日は平服でお越し下さい。御香典、御供花はご遠慮させていただきます)